



5月

白銀の世界と雪の白壁

4月中旬に山麓の平湯峠から始まる乗鞍スカイラインの除雪作業は、5月上旬に終点の乗鞍岳畳平に到達し、雪に埋もれた観光施設が姿を現します。

乗鞍岳の春は5月15日に行われる山開き祭とともに訪れます。当日は安全祈願と伝統芸能披露や地酒樽開きによりシーズンの始まりを祝います。

乗鞍スカイライン沿いでは大型バスより高い雪壁が続き、鶴ヶ池周辺では雪の回廊も楽しめます。



残雪とハイマツのコントラスト

山麓では初夏を迎えますが乗鞍岳はまだ残雪に覆われ、ハイマツや岩肌とのコントラストを楽しめます。

この時期は修学旅行生が多く訪れ、畳平周辺では雪遊びの歓声がこだまします。また、雪渓(スキー指定地)ではスキーやスノーボードも楽しめます。



可憐な高山植物の競演

乗鞍岳に短い夏が訪れ、高山植物が可憐な花を咲かせます。畳平の南側に広がるお花畑では、さまざまな種類の高山植物を楽しめます。

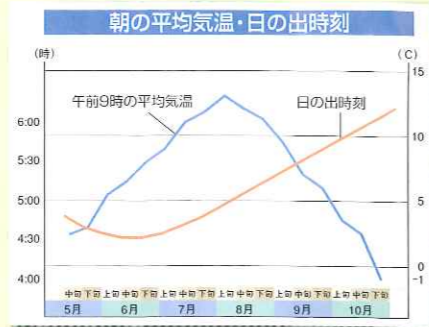
7月上旬には乗鞍スカイラインを一気に駆け上がる自転車レース「乗鞍サイクルヒルクライム」が開催されます。近年は雄大なパノラマを満喫できる乗鞍岳を目指すサイクリストが増えています。

花の見頃である7月中旬から8月中旬には乗鞍自然観察指導員による自然観察教室が開催され、乗鞍岳の自然環境や動植物について散策しながら案内します。

また、畳平から最高峰の剣ヶ峰(3,026m)まで1時間30分程で登ることができ、手軽に夏山登山を楽しめることから多くの登山者で賑わいます。



剣ヶ峰から望む北アルプス連峰



周辺散策

■畳平から徒歩で(片道)	所要時間
剣ヶ峰(頂上)まで	1時間30分
大黒岳まで	20分
富士見岳まで	25分
肩の小屋まで	40分
魔王岳まで	15分
■バス停肩の小屋口から徒歩で	所要時間
肩の小屋まで	40分

# 中部山岳 乗鞍岳散策マップ

乗鞍岳は、北アルプス(飛騨山脈)の南端に位置し、剣ヶ峰(3,026m)を最高峰に23の峰と7つの湖、8つの平原があり、四季を通じて美しい景観を楽しむことができます。

- 乗鞍岳の自然環境保全事業に活用するため、乗入れる自動車(利用者)から岐阜県乗鞍環境保全税を頂いています。
- 乗鞍岳は標高2,500m以上の高山地帯です。天候の変化や体調管理に十分注意をはらい行動してください。
- 乗鞍岳一帯は国立公園の中で最も規制の厳しい特別保護地区に指定されています。



畳平から眺める天の川

乗鞍山頂の施設

施設名	業務内容	収容人員	電話番号
乗鞍バスターミナル	食堂・みやげ・バス待合	200人	乗鞍総合案内所 090-8671-3191
濃飛バス	乗車券販売・みやげ		
アルピコ交通	乗車券販売・みやげ		
乗鞍本宮神社	神社・みやげ		
乗鞍山頂郵便局	郵便業務・みやげ	70人	090-3300-3145
銀嶺荘	宿泊・食堂・みやげ	70人	090-3480-3136
白雲荘	宿泊・食堂・みやげ	200人	0263-93-2001
肩の小屋	宿泊・食堂・みやげ	200人	090-1561-6434
頂上小屋	みやげ		

■冬期の施設連絡先案内 飛騨乗鞍観光協会 0577-78-2345

凡例

	車道
	歩道
	木道
	公衆トイレ
	ビューポイント



8月

満天の星空と神々しいご来光

乗鞍岳のもうひとつの魅力は、手が届くような満天の星空です。乗鞍岳の宿泊施設に泊まり外に出て天空を見上げれば、天の川や夏の星座が広がる天然のプラネタリウムです。

8月中旬から9月上旬には移動天体観測車と講師を招いて乗鞍岳星空観望会が開催されます。

また、早朝に起き出て岐阜県と長野県境にあたる富士見岳や大黒岳へ向かえば、空がうっすらと白み始め、雲海の彼方から神々しいご来光が拝めます。



9月

鮮やかに染まる紅葉

乗鞍岳は紅葉シーズンを迎え、9月下旬から10月中旬にかけて紅葉前線が足早に山麓へと降りていきます。

お花畑ではコケモモやチングルマなどの高山植物が赤く紅葉します。

また、乗鞍スカイラインの夫婦松展望園地周辺や乗鞍エコーラインの大雪渓周辺から乗鞍高原にかけての沿道は、真っ赤なナナカマドや黄色のダケカンパなど鮮やかな紅葉に染まります。



10月

ひと足早い冬の訪れ

秋から初冬にかけて高山盆地一帯は放射冷却による朝霧が立ち込め、乗鞍岳は雲に覆われて見えない日があります。

そんなとき乗鞍スカイラインを通り標高2,500mを超えると眼下に雲海が広がり北アルプス連峰が雲上に浮かんで見えます。

10月中旬になると乗鞍岳では初氷や初積雪が観測され、ひと足早い冬の訪れを告げます。10月31日に乗鞍スカイラインと乗鞍エコーラインは冬期閉鎖となり、やがて厳しい冬を迎えます。

# 乗鞍岳へは、バス、タクシーでお出かけください。



観光バス、タクシーは乗鞍畳平(乗鞍鶴ヶ池駐車場)で駐車料金が必要となります。また、乗鞍地域の自然環境保全施策に要する費用に充てるため、乗鞍環境保全税が課税されます。

乗鞍畳平(乗鞍鶴ヶ池駐車場)	
大型バス(30人乗り以上)	10,000円
乗鞍環境保全税	3,000円+駐車料金7,000円
大型バス(11~29人乗りまで)	4,500円
乗鞍環境保全税	1,500円+駐車料金3,000円
タクシー	2,000円
乗鞍環境保全税	300円+駐車料金1,700円

## 乗鞍イベントカレンダー

- 5月15日 乗鞍岳山開き祭  
乗鞍スカイライン開通(岐阜県側)  
安全祈願祭と地酒樽開きが行われます。
- 5月15日~6月上旬 雪の白壁見ごろ
- 7月1日 乗鞍エコーライン開通(長野県側)
- 7月第1日曜 乗鞍スカイラインサイクルヒルクライム大会
- 7月中旬~8月中旬 高山植物の花見ごろ・乗鞍自然観察教室  
キバナシャクナゲ・ハクサンイチゲ・ミヤマキンバイ・コマクサなどが開花します。
- 8月8日 乗鞍本宮例祭  
畳平で獅子舞が奉納されます。
- 8月中旬~9月上旬 乗鞍岳星空観覧会  
乗鞍岳の宿泊施設に泊まり、移動天体観測車で満天の星空を観察します。翌朝には神々しい朝光も拝めます。
- 8月下旬日曜 全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍
- 9月中旬~10月中旬 紅葉の見ごろ  
肩の小屋口・猫岳・平湯峠などでは、ナナカマドの赤色やダケカンバの黄色が鮮やかです。

## アクセス



## お問い合わせ

飛騨乗鞍観光協会・高山市観光連絡協議会  
〒506-2121 高山市丹生川町坊方2000  
Tel. (0577) 78-2345・Fax. (0577) 78-2011  
URL <http://www.hida-norikura.com>

乗鞍総合案内所(畳平) (5月15日~10月31日)  
〒506-2254 高山市丹生川町岩井谷乗鞍 Tel.090-8671-3191

# 乗鞍岳



# 乗鞍岳 動植物図鑑

マナーを守ってすばらしい  
自然をお楽しみください。



ライチョウ(雷鳥)

国の特別天然記念物に指定され、乗鞍岳一帯には約100羽しか生息していないと推定されており、保護しなければならぬ貴重な種です。6~7月に産卵・育雛し、夏は茶色、冬は白色に羽毛が生え変わり、天敵から身を守っています。



イワヒバリ

岩の隙間などで6~7月に産卵・育雛します。多夫多妻で繁殖し個体数も多く、岩場や畳平のお花畑でよく見かけます。



カヤクグリ

ハイマツ林に生息しています。小さい群れで雪渓の上やお花畑を歩きながら昆虫や種子を食べることがあります。



ホシガラス

全体的に黒茶色で白色の斑点が縞になっています。8月下旬になるとハイマツの実を食べるために上がってきます。



オコジョ

岩や樹根の隙間などに巣築しますが、人前に姿を現すことは稀です。夏は背が茶色で腹が白色、冬は全身が白色となります。



ツキノワグマ

のと元の白い毛が三日月状に見えることから名前が付いています。夏は標高が高い所へ移動して生活するため乗鞍岳一帯で目撃されます。



クジャクチョウ

畳平のお花畑周辺で7月中旬からよく見かけます。鮮やかな茶色と大きな目玉模様がクジャクの飾り羽のように見えます。



アオノツガザクラ

雪渓のわきなどの湿地や岩場に生えます。おちよほ口の青白い花をつけます。



イワギキョウ

青紫色の花が上向きに咲きます。枯梗ヶ原から畳平付近の砂利地でよく見かけます。



イワツメクサ

中部地方の高山のみに生える植物です。花期が長くお花畑への階段の周辺でよく見かけます。



ウサギギク

15から17枚ほどの黄色の花びらをつけます。高山蝶や花アブがこの花をよく好みます。



ウメバチソウ

かわいらしい姿の白く咲く花と小さい葉が特徴的です。やや湿ったところに生えています。



オンタデ

花は地味ですが、草丈が大きいので目立ちます。畳平周辺でよく見かけます。



キバナシャクナゲ

高山植物の中でいち早く咲きます。花の時期が過ぎると真ん中に赤みがさしてきます。



クルマユリ

夏の後半にオレンジ色の花をつけます。葉が輪生することからこの名が付いています。



クロユリ

茶褐色の花をつけます。畳平のお花畑入口の湿地帯などに生えます。



コイワカガミ

朝露に濡れた光沢のある葉が太陽の光で照らされるようすは鏡のようです。



コケモモ

葉が肉厚のツツジ科の低木。白桃色の釣鐘状の花が咲き、その後は赤く丸い実をつけます。



コバイケイソウ

高山植物の中では比較的草丈が高い植物です。花が咲く年とまったく咲かない年があり不思議です。



コマクサ

花が馬の顔に似ているため駒草の名がつけました。高山植物の女王とも呼ばれています。



タカネナナカマド

花は白色で秋は真っ赤に紅葉し果実をつけます。乗鞍エコーライン周辺の紅葉は鮮やかです。



チングルマ

白色のかわいらしい花をつけます。果実が風車に似ていることからこの名がつけました。



トウヤクリンドウ

畳平のお花畑で見られ8月下旬に咲きます。太陽の光に敏感で曇るとすぐ花弁を閉じます。



ハイマツ

ライチョウが天敵から身を守るための隠れ場所となります。芽や種子がライチョウのエサとなります。



ハクサンイチゲ

白い花をつけ畳平のお花畑は大群生地です。若芽や黒い果実はライチョウのエサとなります。



ミネウスユキソウ

真綿で覆われたように多くの毛が付いています。ヨーロッパアルプスに咲くエーデルワイスの仲間です。



ミネズオウ

畳平のお花畑の木道入口あたりに群生しています。丈は低いですが木の仲間です。



ミヤマアキノキリンソウ

花の色から別名を黄金菊ともいわれます。秋をつける花で、畳平周辺で見ることができず。



ミヤマキンバイ

乗鞍岳ではよく見かけます。葉はイチゴの葉に似ており黄色い5枚の花弁をつけます。



ミヤマミミナグサ

大きな株になり、白い清楚な花をつけます。花期は長く鶴ヶ池周辺でよく見かけます。



ミヤマダイコンソウ

畳平周辺の登山道の岩場などでよく見られます。ダイコンの葉に似ていることからこの名がつけました。



モミジカラマツ

ふわふわとした白色の清楚な花をつけます。葉の形がモミジに似ていることからこの名がつけました。



ヨツバシオガマ

ノコギリのような葉が輪生しています。夏の比較的早い時期にピンク色の花をつけます。